

1 AIPPI 日本部会としての活動

1 AIPPI 本部の活動、国際総会及び執行委員会への参加及び協力

- AIPPI 国際総会
- AIPPI 執行委員会
- AIPPI フォーラム

これらの国際会議やフォーラムに参加し、知的財産権に関する法律の改正や運用上の諸問題に関して議題の審議やフォーラムなどを通じて、わが国の立場や状況を主張する重要な役割を果たしています。

また、本部の運営理事会、プログラム委員会、議題委員会のメンバーとして多くの日本の会員が選出され、本部の運営においても活躍しています。現在、日本部会から本部運営メンバーに選出されている方は右記の通りです(2008年1月現在)。

- Treasurer General 片山 英二 氏
- Assistant Reporter General 奥山 尚一 氏
- Programme Committee 近藤 恵嗣 氏
- Nominating Committee 熊倉 禎男 氏
- Editorial Advisory Committee 窪田英一郎 氏
- Statutes Committee 辻居 幸一 氏

また、議題の検討を行う Working Committee や Special Committee にも数多くの会員が、そのメンバーとして活動しています。

上記、国際総会やフォーラムには一般会員も参加、隔年で開催される国際総会には、日本から毎回200名を超える会員が参加し、議題の審議や懇親の場を通じわが国の国際化に大きく貢献しています。

2 委員会活動

AIPPI の国際総会及び執行員会で審議される議題に関する日本部会の意見集約のためや海外の団体との交流を円滑に行うためなど、適宜、目的に応じて設置される委員会の活動により、国際会議における討議への参加や海外の団体との積極的な交流が行われ、知的財

産の国際的な発展に大きな役割を果たしています。

現在、下記のような各委員会が活動しています。

- AIPPI 各種議題検討委員会
- 海外団体交流委員会

3 AIPPI の各国部会及び他の海外団体との交流

国際間に存在する諸問題を民間レベルで相互に確認し、そのあり方を討議し、条約や各国制度・運用に反映させることを目的として、海外の知的財産関係機関及び AIPPI 各国部会との交流を続けています。特に中国及び韓国の部会とは、毎年一回、日中韓の定期会合を持

ち、ロシア連邦(旧ソ連邦)の AIPPI 部会とは長期にわたって定期的な会合をもっている他、AIPLA、Max Planck 研究所、CASRIP 研究所をはじめ、当該分野の欧米の団体・大学・研究機関等と随時交流を重ねています。

2 社団法人日本国際知的財産保護協会としての活動

1 知的財産に関する出版物の発行

A 定期刊行物の発行

月刊誌『A.I.P.P.I.』
(通称：月報)
和文・会報誌

知的財産に関する専門家の論説、世界各国の法律改正やその運用に関する情報等を掲載しています。本誌は会員に配付するほか、国内では特許庁、裁判所、国会図書館、大学図書館、友好団体などに、また海外の数十カ所の関係機関にも配付しています。
(年12回発行)



これらの活動を 進めるため、
編集委員会が設けられています。

隔月刊誌『A.I.P.P.I.』
(通称：英文ジャーナル)
英文(有料)

我が国の知的財産に関する論説、判決、法令並びにその運用等に関する情報を海外に紹介し、我が国に対する正しい理解と認識を深めることを目的として発行しています。WIPOをはじめ約100カ国の特許庁、国際機関、大使館、弁理士・弁護士などの団体、国立図書館、AIPPI各国部会等に配付しており、一般希望者にも有料で頒布しています。

